

町の補助金を利用して 合併処理浄化槽の設置をお考えの方へ

町では、合併処理浄化槽を設置する計画のある方に対して補助金を交付しております。

本年度の補助金は、残り7人槽3基分程度となっておりますので、**設置希望のある方は10月9日（金）までに、生活環境課環境衛生係までご連絡ください。**希望者多数の場合には、抽選となりますことをあらかじめご了承ください。

なお、補助金の交付にあたっては該当要件（例 下水道計画区域「小平市街地、鬼鹿市街地、臼谷地区」を除く区域に設置するものなど）がございますので、詳しくはお問い合わせ願います。

また、現在の補助額は今年度限りとなり、平成22年度からは、国の基準による補助額に変更されることとなりますので、お知らせいたします。

今年度補助額		平成22年度補助額	
5人槽	420,000	5人槽	352,000
6人槽	490,000	6人槽	441,000
7人槽	560,000	7人槽	441,000
8人槽	630,000	8人槽	588,000
9人槽以上	700,000	9人槽以上	588,000

※ 平成22年度からの補助額につきましては、国の補助基準の変更にあわせ、随時変更されることとなりますので、現在記載の補助額が保障されているものではありませんので、ご了承ください。

気をつけましょう ～ゴミの出し方～

町内数箇所のごみステーションで分別状態の検査を実施したところ、一部で不適切な事例が見受けられました。特に、**生ごみについて間違った出し方**をしている方が多かったので、以下のことに気をつけましょう。

●ビニール袋はダメ

生ごみをビニール袋・ポリ袋・ナイロン製水切りネットなどに入れてから新聞紙で包み、それから指定袋に入れているものがありました。このような生ごみは、堆肥へのリサイクルができないので収集できません。

●布ガムテープもダメ

布ガムテープやホッチキス針で指定袋を閉じているものがありました。これらのものは収集できません。紙ガムテープか紙ひもでとじましょう。

●包む新聞紙は1～2枚

生ごみを包む新聞紙の量が多いものが多数ありました。生ごみはよく水を切ってから新聞紙1～2枚で包んでください。また、チラシ等は特殊なインクを使用している場合があるので、使わないでください。



よく水を切りましょう！



包む新聞紙は1～2枚



フタ付バケツ等で保管



指定紙袋に入れ、新聞紙で包んだ生ごみを入れ紙ガムテープで閉じる